

活動ポイント制

高齢者の健康寿命に係るポイント制度を

町 幅広く事業を展開 ポイント制度は慎重に



安竹 正 議員

健康長寿社会に向けた『高齢者いきいき活動ポイント手帳』制度を設けては。

議員 この制度を実施するにあたり国、県の補助はないのか。

保険健康課長

近隣の市町では、介護保険特別会計の地域支援事業で実施している。

この事業には上限があり、坂町は上限まで活用して様々な事業を実施しているため、上限を超えた場合、保険料から支出することになる。

議員 町独自の政策を考える余地はないか。

町長

本町は、近隣市町と比較すると、幅広いサービスを実施している。高齢者の方々から、現在行っているサービスの財源をポイント事業に移行してほしいという要望があれば検討の余地があると考えている。

町長 昨年度、第10期後期高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画を策定し、その実施したアンケートでは「ポイントがたまるとの特典」については6.7%であった。この制度には多くの財源を必要とするため、老人クラブ連合会や各地区の老人会や、より多くの対象者の意見を聞き、慎重に検討が必要である。



広島市が実施している手帳

循環バス

循環バスの完全復活を

町 当面は月曜日から土曜日の運行に注力する



池脇 雅彦 議員

令和6年度のバス運行にかかる財源の内訳と収支の見直しは。

議員 住民負担ではなく、ラッピングバスや車内広告の募集、クラウドファンディングなど積極的な財源確保が必要では。

町長

事業者や個人の方々からの出資などは、金額の設定も含め、一定のルールの基で、みんなで「支える」ことが必要と考えている。

議員 住民は、連日運行の復活を願っているが。

町長

今年度、町民・議員の強い要望もあり、土曜日運行を開始したが、利用状況は平日の5割程度である。日・祝日はさらに下がるが見込まれるため、当面は月曜日から土曜日の運行に注力したい。



みんなで支える循環バス

防災公園

防災意識や防災機能強化の防災公園の整備を

町 小屋浦地区に整備しており、他地区には考えていない



奥村 富士雄 議員

小屋浦地区だけでなく、横浜地区津波避難場所や坂地区防災空地を防災公園として整備しては。

議員

津波一時避難場所や防災空地に防災意識高揚のための啓発パネルや防災設備の活用方法などのパネルを設置してはどうか。

町長

防災意識高揚のための啓発は、坂町防災の日を含む防災週間に、横浜ふれあいセンター、町民センター、町民交流センターで防災教育ビデオ上映とパネル展示などを行っている。防災意識の啓発を図っている。

今後、パネル設置は、地区住民福祉協議会の意見を聞き、検討する。



防災公園として整備してほしい！

有害鳥獣対策

坂町の有害鳥獣対策を

町 対策協議会での実績を踏まえさらに取組を



岡村 繁範 議員

4月から坂地区で捕獲したサルへのGPS装着に伴う生体調査内容は。

議員

鳥獣被害防止対策交付金を利用した駆除員の増員、育成は。

町長

町独自の施策として駆除班の育成をしている。増員も必要に応じて対応していく。

議員

有害鳥獣問題は、食料を求め居住区や通学路などへの出没により、住民や子どもたちへ危険を及ぼすことである。専門家と連携している中、行政と住民がどう取り組む、解決していくのか。

企画財政課長

サルや猪の出没を防ぐには、捕獲、侵入防止、生息環境の管理と3つの対策を地域ぐるみで徹底することが重要である。捕獲檻については、今年度は植田地区に設置予定であり、侵入防止策については、ネットや金網、電気柵などの町の補助金を活用設置してほしい。生息環境の管理についても、農地被害者へ専門家を派遣し、原因調査対策などをアドバイスしていく。



坂地区で捕獲されたサル

町長 令和5年度に坂町有害鳥獣駆除対策協議会を設置し、サル捕獲対策では現在30匹の捕獲実績があり、農作物被害減少や住民の不安低減に役立つ取り組みと感じている。GPS装着のサルについては、現在調査中であるが、行動範囲や生体、対処方法などを町民にわかりやすく情報提供をしていく。